

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わくわく		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性	毎日の支援後に職員間で振り返りを行い、翌日のスーパーバイズを通して、障害特性への理解を深め、次回の支援方針を共通理解のもとで支援しています。 アセスメント→実践→検証を利用者の状況をみながら繰り返し行っています。	振り返り等の機会を通して省察していった事柄を、次の支援に活かしていく仕組みを継続する中で、個々の支援力・専門性を、チーム力としていけるよう進めます。
2	障害特性によるグループ分け	見学時の様子からアセスメントを行い、適切なグループで活動できるように進めています。	個別性に配慮しながらも、小集団療育を活かせる場作りとして、グループ編成に当たっての考え方、仕組みは継続していきます。
3	伸び伸びと活動できる環境(グラウンド・体育館・プール)	広いグラウンド、体育館、プールを活用し、児童期・思春期にある利用児にとって思いきり身体を動かせる環境があることは、心身の発達にとっても有効だと考えます。 利用者個々の下校時間の違いがありますが、活動時間を工夫・調整し、その確保をしています。	環境に合わせた遊具等も多岐に取り入れ、遊び・活動のバリエーションに工夫していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー	現在の建物の構造上、エレベーター設置は難しいため、身体機能に何らかの弱さ、障害等を抱えている方にとっては使いにくい環境にあると考えます。	現段階では、ハード面からのアプローチは難しい状況にあります。お子さんのテンポ・身体機能に合わせた階段歩行や、そのサポートといったソフト面から丁寧に支援していきます。
2	送迎	様々な学年の利用児童が多数の学校から通ってきていることから、すべての学校に送迎対応することが難しい実態があります。	送迎車両、ドライバー数に限りがあるため、学校別の利用児童数、送迎ルート、時間等の組み合わせについて最大限に考慮しながらも、保護者様のご協力のもと、送迎をしていただく実態があります。
3	父母の会、研修会などの実施	就労している保護者も多数いらっしゃるから、保護者同士の交流や研修会ができていない実態があります。	保護者向けの研修等、ご要望があれば、日程等調整し前向きに検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス わくわく

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 2026年 3月 1日 45名

回収数 43

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98%	2%		・広い方だと思う	・支援室2室の他に、グラウンドや体育館、プール（夏場のみ）などもあり、利用者が元気に活動できる環境を整えています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	98%			2%	・適切だと思う	・放課後等デイサービスの利用定員や人員配置に則って支援しています。 ・基本的には5～7名を2人の職員で支援しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	86%	5%	2%	7%	・3階なのにエレベーターがない ・いつもきれいで清潔な空間であると感心しています。先生たちが細かく掃除や整理整頓して下さっている結果だと思う。	・現在エレベーターの設置が難しいため、階段に手すりを設置して対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	98%			2%	・なっていると思う	・毎日、支援後に掃除、消毒をして、清潔な空間で過ごしてもらえるように進めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	98%			2%	・気難しい子への対応は難しい時もあるが、障害特性への理解がある	・障害特性を踏まえたグループ分け、特性を理解した支援を大切にしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	98%	2%			・大体されている	・今後も支援内容に沿って適切に支援していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	98%		2%		・子供がお友達の誘いを断った時に、子供が悪いように言われたが、落ち込み過ぎて断ったのを理解していない	・お伝えの仕方でも細かなニュアンスが行き届かない点があったのかもしれませんが、以後、十分に気を付けていきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91%	5%	2%	2%	・面談時に具体的な支援内容を伝えて頂き、大変分かりやすく安心して見て頂けるので本当にありがたい。	・個別支援計画作成時には「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を5領域を意識しながら、利用者に必要な項目を設定すると共に、具体的な計画となるように進めています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98%			2%	・問題ない	・今後も個別支援計画を中心に、適切な支援を提供できるように進めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	7%		2%	・長く利用しているとマンネリ化を感じる。 ・学校が長期休暇の時は、外出や普段と違うプログラムを考えてくれる。	・多くの利用者に見通しを持って安心して過ごしてもらうために、プログラムの流れは構造化させて頂いています。休校日支援の際には、外出などを計画して進めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19%	14%	27%	40%	・全くない	・同じ放課後等デイサービスの事業所との交流は行っていますが、地域の子どもたちとの交流はサタデー倶楽部などの休校日支援で実施しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%	5%			・しっかりされている	・初回の契約時に説明しています。内容の変更があった際には、その都度別紙で提示、説明し、サインを頂いています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	98%	2%			・しっかりされている	・年度ごと、または利用開始後に、個別支援計画を提示し、支援内容をお伝えしています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33%	25%	12%	30%	・全くしていない	・家族支援プログラム開催のご希望があれば実施します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	93%	5%	2%		・言っても聞き流される時と対応している時と差がある	・伝達時などに、聞き流された印象を与えないよう、今後はより丁寧に説明させて頂きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93%	2%	5%		・先生よりも自分の方が出来ているので助言を必要としない。自分で全て解決している	・前期、後期の面談に加え、個別の質問には、都度対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%			・話だけは聞いてくれる	・利用者ご家族が安心して穏やかに過ごせるようにサポートすることを意識して支援しています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22%	31%	31%	16%	・全くない	・父母の会などの活動は行っていません。保護者会やきょうだい同士の交流の機会のご希望があれば実施します。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	79%	5%	2%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎が一部の学校しか行われていないため不平等、話をしても聞かぬだけだから相談に乗って欲しくないと思う。自分で調べて解決している ・面談時に申し入れを考えてくれ、具体的な援助に取り入れてくれてありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数に限りがあるため、利用者全員の送迎対応は行えず、条件に合う一部の学校のみ送迎対応しています。ご理解願います。 ・相談は随時受け付けていますので、遠慮なく職員にお伝えください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91%	2%	2%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・下の子のお迎えがあり、帰りは必要最低限のみの伝達となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達時に時間的な余裕がない場合は、電話での対応もできますので遠慮なく申し出ください
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77%	9%	2%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載している 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月「わくわく倶楽部通信」を発行しています。また、サタデー倶楽部の案内なども、マチコミやホームページで紹介しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	98%			2%	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとやっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報同意書」に基づき、写真の掲載等を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	96%	2%		2%	<ul style="list-style-type: none"> ・している 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さまざまな安全に関する対応・対策について」を各ご家族、職員に配布して周知を図っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	84%	5%		11%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	93%	5%		2%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全には気を付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さまざまな安全に関する対応・対策について」という冊子を各ご家族、職員に配布して周知を図っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95%			5%	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をした場合には医療対応をしてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我があった際は、怪私の処置と共に、ご家族に状況をお伝えし、職員間で同じ事故や怪我につながらないように話し合いながら進めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	98%	2%			<ul style="list-style-type: none"> ・伸び伸びと過ごすことが出来、家以外での安心ベースとなっていると思う ・子どもが自分のことを分かってくれるのは一人の先生だけと言っているので安心感は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごしてもらえるように、ご本人のストレングス（強み・好きなこと）の視点を取り入れながら支援しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	86%	9%		5%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用を始めてから一度も行きたくないと言わず、むしろ楽しみにしている。 ・楽しいけど疲れるから家にいたいと言っている ・体を動かすことが特に楽しいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内遊び、運動とバランスを大事にしながら、みなさんが楽しんでもらえるように進めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	5%			<ul style="list-style-type: none"> ・大らかな先生方に囲まれて良い関係性が出来ていると思う。 ・満足している所と全くしていない所がある ・本人の要求を受け入れてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も満足して頂けるよう、より専門性を高めると共に、ご家族と情報交換しながら、適切な支援を提供していきたいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス わくわく		2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・1グループ5名前後で支援を行っており、室内、グラウンド、体育館とスペース的にも適切であると考えています	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%		・1グループ2名の職員で支援しています ・放課後等デイサービスの運営規定に則った利用定員や人員配置となっています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・見通しの持ちやすい構造化された環境となっています。	・エレベーターの設置が難しいため、階段に手すりを設置して対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・支援後に掃除、消毒を行って、清潔な環境を心がけています ・グループ毎に適した空間になるように環境設定を行っています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・個別の過ごしを希望した際は、空き部屋などを活用して臨機応変に進めています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・業務改善を行う際はPDCAサイクルを意識し、係会等、職員が参画できる中で話し合っで決定しています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	・評価票を確認し、改善できる所から進めています ・今年度は「さまざまな安全に関する対応・対策について」のマニュアルの改定を行いました。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・ミーティングや係会、上司による面談等で職員の意見を把握する機会を設けています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%		第三者評価は実施していませんが、今回の自己評価を活用して、業務改善に務めます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・毎月の人権虐待防止研修や、係会での勉強会、外部研修の機会を設け、日々の支援の中でOJT的にも実施しています	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・ホームページで公表しています	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・適切な支援につなげるため、アセスメントに力を入れて取り組んでいます。その評価をもとにニーズと照らし合わせながら個別支援計画を作成しています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・児童発達支援管理責任者だけでなく、職員も共通理解のもとで内容の検討を行っています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・定期的にモニタリングを実施し、職員全員で支援計画を確認しながら進めています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・標準化されたツールなどは使用していませんが、独自に作成したアセスメントシートを使用して進めています ・行動観察は振り返り、打ち合わせの中で毎日行っています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・個別支援計画作成時には「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を5領域を意識しながら、具体的な計画となるように進めています	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・長期休み中の過ごしや土曜日のサタデー倶楽部等の外出の際は、その内容や掌握、座席などを職員全員で話し合いながら決めています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・おやつ→運動→室内遊びと基本的なプログラムの流れはあえて構造化して見通しが持ちやすいように進めています ・サタデー倶楽部では普段いけない場所へ外出しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・集団での活動をベースにしながらも、利用者個々に合わせて、個別の過ごしも取り入れるように進めています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・毎朝、職員全員で打ち合わせを行い、参加利用者、送迎の確認、前日の支援の振り返りとスーパーバイズ、今日の支援の進め方と配慮点について確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・毎日支援の振り返りを行い、翌日の打ち合わせで共有し、スーパーバイズによる検討を行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日々の記録はもちろん、モニタリング等で記録をみながら、再アセスメントや検証を行っています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		・係会の中で放課後等デイサービスガイドラインについて確認し、自立活動、様々な体験、自己決定等を意識して進めています。地域交流については実現できていません。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・おやつメニュー決めや選択、外食先、ドライブコースなどを利用者に意見を伺う機会を多く持っています ・グループによっては利用者のみで決定してもらっています		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・サービス担当者会議や関係機関との会議には、子どもの状況を理解している職員が参加するようにしています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・保護者や相談支援、行政などからの依頼があった際は、学校などに行き、関係者会議の中で情報を共有しながら進めています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・下校時刻の確認を中心に、学校との情報共有を行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		・保育所などと直接的なやり取りはしていませんが、保護者や相談支援、児童発達支援等とは連携して進めており、依頼があった場合は適宜、対応しながら進めています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	・ご家族や学校、相談支援などから依頼があった場合は、その都度対応しています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		・同じ事業所内の児童発達支援センターとは連携して、必要に応じてアドバイスや情報共有を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・他の放課後等デイサービスの事業所と交流する機会はありますが、児童クラブや児童館との交流は行っていません	・現在は児童クラブなどとの交流は行っていませんが、要望があれば検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	・自立支援協議会へ参加しています ・放課後等デイサービスの集まりを年3回、事務局として開催しています	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・個別支援計画の面談に加え、毎日のお迎えの際にこどもの様子や課題等について共通理解ができるように進めています		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%		・家族参加型の支援プログラムは行っていません。希望があれば開催を検討します	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・見学時に支援プログラムや送迎については説明させて頂き、初回の契約の際に運営規定、利用者負担等をお伝えしています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・毎年、年度末に二重表を提出して頂き、その内容を確認しながら個別支援計画を作成しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・前期、後期と個別支援計画の提示と説明を行い、同意していただいた際にサインを頂いています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・お迎えの際や電話等でご相談の依頼があった際には、その都度面談、電話等しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	17%	83%		・父母の会などは実施していませんが、希望があれば開催を検討します
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・今年度、苦情等は寄せられていません ・気になる点がありましたら遠慮なく、苦情解決受付者、または事業所の職員にお伝えください	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・毎月、わくわくクラブ通信を発行しています。サタデー倶楽部の開催は、マチコミとHPでお伝えしています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・契約の際に個人情報同意書にサインして頂き、各利用者毎の同意に沿って進めています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・利用者の特性に合わせて、視覚情報で伝えたり、表情やしぐさから気持ちを読み取りながら進めています	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		・教員や相談支援、他事業所の方などの見学、学生ボランティアは常時受け付けています	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・各マニュアルを策定しています。 ・「さまざまな安全に関する対応・対策について」を各ご家族、職員に配布し、周知を図っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・毎月、避難訓練を行っています ・業務継続計画を策定しています ・避難訓練の様子は、数か月に1度、わくわくクラブ通信にて、写真付きで報告しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・アセスメント表やご家族からの伝達で、服薬やてんかん等を職員間で確認、共有しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・食物アレルギーに関しては、毎月の係会の中で確認し、安全に気を付けながら進めています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・安全計画を策定しています ・毎年、プール活動が始まる前に応急手当講習会を実施し、職員全員が心肺蘇生などを学んでいます	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・「さまざまな安全に関する対応・対策について」を各ご家族、職員に配布し、周知を図っています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットは職員で回覧し、必要に応じて検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・毎月、人権虐待防止委員会による研修に参加し、適切な対応ができるように学んでいます	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・身体拘束は行っていません ・やむをえず身体拘束が必要な場合は、利用者や保護者に説明し同意を得た上で個別支援計画に記載します	